

地域支援課は、義務教育課、総合教育センター等と連携を図りながら、学校、市町教育委員会を支援し、授業を軸とした全教育活動を通して、子供に「生きる力」を育む。

地域支援課の使命

○ 市町教育委員会の主体的な取組への支援

- ・国及び県の教育施策を踏まえ、各市町の教育施策を尊重しながら、質の高い教育に向けた市町教育委員会の取組を支援する。
- ・地域支援課担当者と市町教育委員会指導主事等が協働し、互いの資質向上を図るとともに、広い視野から学校を支援する。

○ 人事と指導の一体的な支援

- ・人事管理訪問と指導訪問を中心として各地区及び各学校のよさや課題を共有して支援に当たる。
- ・子供や地域にとって真に魅力ある学校を目指した、生き生きと働くことのできる活力ある職場づくりを、人事・指導の両面から支援する。

支援の重点

組織経営の側面から

□ 機能的な組織づくり

- ・キャリアステージに応じた活躍の場を工夫し、一人一人が学校づくりの一翼を担っている実感と参画の喜びを味わう教職員集団をつくる。
- ・チームとして学校教育目標の実現に向かっていくことを共有する組織の運営を行う。
- ・PDCAを機能させ、子供のよりよい成長を促すダイナミックな学校づくりを推進する。

新任職階別研修、特別研修、人事管理訪問、人事異動、スクール・サポート・スタッフの全校配置、非常勤講師・加配教職員の配置、地域学校総括監との連携

□ 地域とともにある学校づくり

- ・地域の特色や資源をカリキュラムに組み入れるとともに計画的に教育活動を推進し、子供の姿で成果を発信する好循環サイクルをつくり出す。
- ・地域や保護者と学校教育目標等を共有し、地域と一体となって子供を育む体制を構築する。

コミュニティ・スクールの推進

□ 危機管理の徹底と信頼の基盤づくり

- ・教育公務員であることの自覚と、当事者意識の涵養を核とした危機管理体制により、不祥事を根絶する。
- ・「どの職員も大切」「孤立させない」をキーワードに、所属意識が高まる、温かく働きやすい職場づくりを目指す。
- ・子供を一人の人間として尊重し、豊かな人権感覚を持って行動する教職員を育てる。

人事管理訪問、メンタルヘルス研修会等、コンプライアンス通信、サポート相談員

教育課程編成の側面から

◇ 「生きる力」を育む授業づくりの充実

- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自校において育成すべき資質・能力を具現化する。
- ・「生涯学習の視点」と「子供中心主義の視点」の理念のもと、新教師用指導資料『自分ごと（自分の事）として学ぶ子供』を基に子供一人一人の自立に向けた授業づくりを推進する。

指導訪問、研修主任研修会、教育課程研修会、研究指定校

◇ 特別支援教育及び人権教育の充実

- ・一人一人の力を最大限に伸ばすため、子供の困り感に寄り添い、ユニバーサルデザインの考え方を組み入れた授業づくり・学級づくりを進める。
- ・互いの多様性を認め合い、「自分も他の人も大切だ」という子供の豊かな人権感覚を育む教育を推進する。

静岡式35人学級、指導訪問、新任特別支援学級担任等研修会、通級指導教室の設置拡大、人権教育指定校

◇ 命を守る教育の充実

- ・教育活動全体を通して、防災、防犯、事故防止等の安全教育に意図的に取り組み、子供自らが判断し、行動する力の育成を推進する。

研究指定校、SC・SSW活用事業、生徒指導月例報告

経営のキーワード

- ◎ 市町教育委員会との連絡・調整
- ◎ 危機管理に強い学校づくり
- ◎ 「自分ごと（自分の事）として学ぶ子供」の周知徹底
- ◎ キャリアステージに応じた人材育成
- ◎ 教育課程編成の視点を踏まえた指導訪問の充実